

第二次霧島市総合計画(後期基本計画)施策評価シート

令和7年度

政策	3. やさしさ(誰もが支えあいながら生き生きと暮らせるまちづくり)	SDGs															
施策	1. 健康づくりの推進と医療体制の充実																

施策で目指す姿

- 市民の主体的な健康づくりを推進し、疾病の早期発見や特定保健指導等による重症化予防、こころの健康づくりに努めるとともに、市民の健康づくりや子育て支援の新たな拠点となる多機能・複合的な保健センターの整備を進めます。
- 市立医師会医療センターの施設整備を進めるとともに、始良地区医師会等と連携し、一次救急医療・二次救急医療体制のさらなる充実を図ります。
- 感染症の予防や拡大防止対策に取り組むとともに、新たな感染症に即応できる健康危機管理体制の充実を図ります。

基本事業における成果・課題・改善策

1. 健康づくりの推進と拠点の整備		決算額	803,462千円
令和7年度の事業成果	令和7年度の事業課題(&変化した現状・課題)	令和8年度以降の改善策	
●休日検診の実施や予約制セット検診の日数を増やすなど受診しやすい体制を整備した。 ●健診受診者の中からターゲットを絞り対象者を訪問し、早期受診につながるよう支援を行った。経年的に介入が必要な支援者に訪問し支援を行った。 ●「霧島市自殺対策計画」に基づき、全庁的な取組の推進や、職員に対する研修会を実施するとともに、今後の自殺対策の指針となる「霧島市自殺対策計画(第2次)」を策定した。 ●霧島市総合保健センターが完成し、保健・子育て支援の拠点として機能強化が図られた。	●予約制セット検診の周知を図ったが、受診者増にはつながらなかった。 ●生活習慣病の重症化予防、CKD(慢性腎臓病)予防のための早期受診対策として、訪問での個別指導及び医療機関との連携が必要である。 ●全庁的な自殺対策の取組の推進や、研修の実施や市民への周知を継続的に行う。 ●霧島市総合保健センターの移転開所に伴い、施設機能を活かした効果的な事業展開や利用促進を図る必要がある。	●休日検診や予約制セット検診の受診者増を図るため、効果的な周知のあり方を検討していく。 ●対象者の健康状態に合わせて、複数回訪問や医療機関と連携した保健指導を行う。 ●令和9年度中に策定予定の健康きりしま21(第5次)に向け、スケジュール管理を行う。 ●霧島市総合保健センターを活用した保健事業の充実を図るとともに、市民の利便性の向上や拠点機能の強化に取り組む。	
2. 質の高い医療体制の確保		決算額	1,518,021千円
令和7年度の事業成果	令和7年度の事業課題(&変化した現状・課題)	令和8年度以降の改善策	
●始良地区医師会等との連携により、夜間・休日における救急医療体制の強化が図られた。また、令和7年度から病院群輪番制の支援に整形外科が追加された。 ●(霧島市立医師会医療センター)新病院開院1年目の年であり、全室個室を活かしたベッドコントロールの見直しや診療科の増加により、入院患者・外来患者ともに前年度と比較し増加した。	●救急医療体制の円滑な運営支援について、関係機関との更なる連携が必要である。 ●(霧島市立医師会医療センター)患者数の増加により医業収益は増加したが、診療材料費などの物価高騰や施設整備に伴う減価償却の開始により医業費用も増加し、4年連続の赤字決算となった。引き続き経営改善に取り組む必要がある。	●関係機関との情報共有や連携を強化し、円滑な運営支援を目指す。 ●(霧島市立医師会医療センター)2026年度診療報酬改定や新地域医療構想及び次期経営強化プランに合わせ、地域の医療機関とも役割分担や連携を強化し、様々な医療ニーズに対応でき、地域で完結する医療の実現を図っていく。また、経営コンサルタントや始良地区医師会と連携し、引き続き経営改善に取り組んでいく。	
3. 健康危機に備えた感染症対策の強化		決算額	363,427千円
令和7年度の事業成果	令和7年度の事業課題(&変化した現状・課題)	令和8年度以降の改善策	
●感染症予防対策会議を開催し、庁内各部、関係機関と感染症拡大時や平時の準備について連携体制や対応について協議を行い、新型インフルエンザ等対策行動計画を3月に改定した。 ●感染症予防のための情報発信や周知・啓発を行い、ワクチン接種体制の整備など感染予防・拡大防止対策が実施できた。	●改定したインフルエンザ等対策行動計画を基に県からの感染症情報の確認、平時からの感染症予防やまん延時の対応について確認を行う必要がある。	●県からの感染症情報を確認し、市民に対し必要な感染症予防のための情報発信や周知、啓発を行う。 ●医師会や医療機関と連携しワクチン接種体制を維持し、臨時のワクチン接種等の対応を迅速に行えるようにする。 ●県や厚生労働省が実施する感染症関係の研修を受けるなど健康危機管理に努める。	

施策の進捗状況

KPI (重要業績評価指数)	測定方法	実績値	進捗率	実績値の検証
		目標値	方向性	
40. 心身共に健康であると感じている市民の割合	市民意識調査	%		未把握
		67.8%	↑	
41. 人工透析の新規導入者数(人口10万人当たり)	慢性腎不全等により新たに身体障害者手帳を取得した人数(人口10万人当たり)(N-1)	30.7人	△93.33%	総合的な取組が成果に繋がり、成果を出すまで時間を要するため、今後も継続的に取り組む必要がある。
		27.8人	↓	
42. 自殺死亡率(人口10万人当たり)	厚生労働省「自殺統計に基づく自殺者数」(N-1)	15.4-	42.86%	総合的な対策と事業の取組が成果につながっているが、事業の取組が成果に繋がるまで時間を要するため、今後も継続的な取組が必要である。
		11.4-	↓	
39. 健康づくりの支援や医療体制が充実していると感じる市民の割合	市民意識調査	%		未把握
		55.1%	↑	
43. 休日診療に参加する医療機関数	始良地区医師会会員のうち、休日診療に参加する医療機関数	125カ所	*****	概ね現状維持ができた。今後も引き続き始良地区医師会と連携し、取組を行う。
		132カ所	→	

改善策を踏まえた施策としての取組方針
●市民の主体的な健康づくりの推進と疾病の重症化予防を図るため、各種健(検)診の受診率向上に向けた効果的な周知及び受診しやすい環境整備に取り組むとともに、対象者の健康状態に応じた継続的な保健指導や医療機関との連携強化を進める。 ●こころの健康づくりについては、「霧島市自殺対策計画(第2次)」に基づき、関係機関と連携した総合的かつ継続的な取組を推進する。 ●霧島市総合保健センターの機能を最大限に活用し、保健・子育て支援の拠点として事業の充実及び市民の利便性向上を図る。 ●救急医療体制については、始良地区医師会等の関係機関との連携を強化し、安定的かつ円滑な運営支援に努める。 ●霧島市立医師会医療センターにおいては、地域医療機関との役割分担を踏まえた医療提供体制の充実及び持続可能な病院経営の改善を推進する。

施策幹事課	関係課
保健福祉部健康増進課	保健福祉部地域福祉課